

# 考え合おう

# 環境戦争 未来

# 軍備も戦争もない社会へ



田中 優さん (未来バンク理事長)

2月20日、21日に開催される第21回青年フェスタの記念講演は、フリーライターの田中優さん。田中さんは地域から地球温暖化防止運動にとり組み、世界各地を取材し旺盛な執筆活動をするといいます。また15年前に非営利のNPOバンクを立ち上げ、市民から募った資金を市民活動のために融資するなど、そのユニークな活動が注目されています。青年フェスタ実行委員長の杉野達也さんと同実行委員長の佐伯知香さんがインタビューしました。

**南極に浮かぶ ひとりの島**  
杉野 地球温暖化問題は日常生活まで実感しにくい、情報も錯綜している。海外と見えていものになっていると感じています。  
田中 地球温暖化問題の深刻さは、世界各地を取材するなかで痛感しています。

「昨年南極へ行ってきました。南極の水が解けて地肌があらわれ、そこにコケが生えるので、南極に緑の島が浮かんでいるんです。北極にも行ってきましたが、そこは今でも伝統的なアイスツト(エスキモー)の暮らしをしている人々がいて、アザラシを捕獲して食用としています。アザラシは流水の7分の1の速度で泳ぎ、流水自体が急激に減少、そのためアザラシを捕獲できず餓死する人も生まれていま

す。昨年の冬はついに、日本に流水が着岸しましたね。」  
田中 日本では地球温暖化への懐疑論が根強く、それがメディアなどで宣伝されているように思いますが、そこはもう事実です。島根県の出雲市で、CO<sub>2</sub>の25%削減を宣言しましたが、すぐに「そんなこと不可能だ」と新聞見出しが出てきました。出雲市には、4つの産業団体(自動車・鉄

鋼セメント・電力)があり、その4産業だけで、日本のCO<sub>2</sub>の実に7割を排出しているんです。自然エネルギーの活用が広がると、電力産業は電力を独占できなくなり、自動車のCO<sub>2</sub>の削減を排出しているのでも、電気自動車も普及すると、自動車産業や石油産業の利益が失われます。そこで働いているのは資本の論議そのもので、利潤追求のためには、将来の世代はもうなくてもかまわない、という発想です。

**虫の眼と鳥の眼**  
佐伯 田中さんは『鳥の眼』が必読です。CO<sub>2</sub>の排出は、家庭は約割、あとは8割は産業からの排出です。このように全体を見れば、地球温暖化防止のため、私たち市民がやるべきことは、産業界に働きかけること、政治や社会を変えていくことだと思います。

**「ナメ」の方法を考えよう**  
佐伯 田中さんは「30」の方向にあると強調されています。一つは「ナメ」で政治にアクセスする動き、もう一つは「30」で多くの人に知らせること。そして3つ目が「ナメ」で、新しい方法を考えようという動き、という点がユニークです。

**子どもたちに想像する力を**  
杉野 教育のなかで環境問題や戦争のことをどうあける時、子どもたちにも想像する力を育てることが、とても大切なことだと思います。つまずき自然エネルギーへの転換をすすめることが、最大の戦争防止策ともなっています。

「天然ガスバンク」を設立しました。日本は外国から木材を輸入し世界の森林を破壊してしまっている。木材を輸入し世界の森林を破壊してしまっている。木材を輸入し世界の森林を破壊してしまっている。



温暖化によって海面が上昇し木の根っこがむきだしになった西表島の海岸

# 新春インタビュー



全国教育文化センター

**あけましておめでとうございます**  
新年おめでとうございます。久しぶりに、新しい時代が到来するこの手ごたえ、歩んできた道の確かさを感じておられる方も多いのではないのでしょうか。  
昨年社会が大きく動きはじめた年でした。がんばれば要求が実り、仲間も広がる時代を迎えています。



大教組中央執行委員長 辻 保夫

**がんばれば要求が実り 仲間が広がる**  
「構造改革」の名で国民に課された貧困と格差。痛ましい「子ども」の貧困。その打開を求める国民的連帯が広がり、新政権を誕生させました。  
雑誌「クレス」1月号に高井科大臣政務官がインタビューに答えていました。7月の参院選で社会進歩に向かう大躍進を勝ち取ることも可能です。日々、一人ひとりの子どもの成長を支えながら、大きな志をもって前進しましょう。

# リレートーク

**主権者として憲法を守る**  
橋下府政の私学助成の削減などに対し、私たち高校生は「笑顔の会」を結成し、高校生の一言メッセージを結成しに届けました。懇談のなかで知事は、「自己責任論」を押しつけてきましたが、私たちは泣きながらだけ聞いていると、きっぱり主張しました。それができたのも、憲法や子どもの権利について学んできたからです。

**政治は変えられる**  
不況のなか高学費の問題が深刻になってきました。学費のためアルバイト漬けで健康を害したり、中退せざるを得ない学生が増えています。「ゼロネット」では、苦しいのは、「自分のせいではない」と話し合い、運動をすすめてきました。総選挙で学費問題が大きな争点となったように、「政治は変えられる」と確信しています。

**3人集れば職場九条の会**  
高校の現場でも奨学金の申請が急増し、お金がなくてアルバイト活動できない生徒が増えています。教育困難が強まり、また憲法の平和原則が揺り戻される事態がすすみます。「ゼロネット」では、苦しいのは、「自分のせいではない」と話し合い、運動をすすめてきました。総選挙で学費問題が大きな争点となったように、「政治は変えられる」と確信しています。

**大きい政治の責任**  
貧困が広がり、「社会的虐待」ともいえる事態がすすんでいます。保険証がなく病院にかかれないうちも、親が非正規のダブルワーク・トリプルワークで、十分に子育てできない。これらの事態は親の責任ではなく政治がつくりだしたネガレクトとして、教育の保障、子育て施策の充実を求めます。

# 輝かそうる憲法



教育子育て九条の会 第2回全国交流会

教育子育て九条の会第2回全国交流会が12月6日、府教育会館で開催され、全国から教育関係者、父母、学生、高校生ら350人が参加。集会では各分野からのリレートークやシンポジウムなどが行われました。

は「日本社会に貧困と格差が広がり、子どもたちの成長するプロセスが打撃を受けている」と訴え、さらに「こうしたなかで子ども・青年は人間の幸福や生き方への問いを深めたい」と指摘し、「憲法・子どもの権利条約を生かし、子ども理解と人権保障の前進へ共同しよう」と力説しました。また集会実行委員長の藤木邦顕さん(弁護士)は「憲法9条士は、いまこそ『九条の会』や、さまざま活動と手をつなぎ、子育てと教育、文化にかかわる人々のつながりを輪を幾重にも広げよう」と呼びかけられました。

**日本の森林を守るために**  
田中 また「中間法人」金ではじめましたが、全国に賛同者が広がるとは思いません。たまた7人、400万円の資金で、金ではじめましたが、全国に賛同者が広がるとは思いません。たまた7人、400万円の資金で、金ではじめましたが、全国に賛同者が広がるとは思いません。たまた7人、400万円の資金で、

**子どもたちに想像する力を**  
杉野 教育のなかで環境問題や戦争のことをどうあける時、子どもたちにも想像する力を育てることが、とても大切なことだと思います。つまずき自然エネルギーへの転換をすすめることが、最大の戦争防止策ともなっています。

**子どもたちに想像する力を**  
杉野 教育のなかで環境問題や戦争のことをどうあける時、子どもたちにも想像する力を育てることが、とても大切なことだと思います。つまずき自然エネルギーへの転換をすすめることが、最大の戦争防止策ともなっています。

**ダ・カーポ ファミリーコンサート**  
1月30日(土) 18:30開演(18:00開場)  
寝屋川市民会館大ホール  
教職員が主任手当を拠出した資金などで開催する恒例の市民コンサート。問い合わせは、寝屋川市教職員組合へ。TEL 072 (826) 8518

**青年フェスタ 行こう**  
2月20日(土)・21日(日) 箕面観光ホテル  
ポスターが完成 待つて まいす  
多彩な講師陣  
●レクリエーション  
●身体操法  
●ヨガ  
●書道  
●太鼓  
●マツ運動  
●写真